



鴨都建第 1 4 5 号
平成 1 9 年 5 月 8 日

国土交通省道路局長 様

鴨川市長 本 多 利 夫



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について (回答)

このことについて、平成 1 9 年 4 月 2 日付け、国道企第 1 1 4 号で依頼がありましたので別紙のとおり回答いたします。

今後の道路政策や道路整備・管理について

- 1・重点化を進める上で優先度の高い政策
 - ・ 災害発生時における幹線道路の複数路線の確保
 - ・ 高規格道路へのアクセスの向上と整備
 - ・ 生活道路においての人優先の道路整備（歩道整備）
 - ・ 半島性の脱却と地域産業を担う道路ネットワークの強化
- 2・効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと
 - ・ 広域幹線道路と一般道路とのバランスのとれた整備
 - ・ 地方における市町村道の整備の立遅れを解消する為、助成制度の充実
- 3・その他（当地域における道路網の現状と要望）

南房総地域は、東京湾アクアラインの完成や、東関東自動車道館山線の全線開通など、広域幹線道路網の整備は着実にその進展が図られており、地域社会にもたらす経済波及効果にも、大きな期待が持たれておるところですが、これにより増大する交通量に対応した受け皿となる一般道路の整備は、必ずしも完全なものとは言い難く、特に当地域唯一の幹線道路であります国道128号は、観光シーズンを中心に交通渋滞に陥り、住民生活に支障を来たしておるばかりでなく、観光地の印象をも低下させ、又、丘陵地が海域に接し、大きな崖地も数多くある地形から、大雨時等における法面崩壊に対して、迂回路の無い地域があり、常日頃より住民は道路の分断等、その危険性を危惧しておる現状にあります。

このような現状から、首都圏中央連絡道や館山・茂原間の地域高規格道路の早期建設や、国道128号の交通渋滞地域の解消並びに危険ヶ所の整備、更には、広域幹線道路網の整備に伴う、千葉県の「高速アクセス30分構想」に鑑みた主要地方道千葉鴨川線、及び主要地方道鴨川保田線等の整備は、当地域においては必要不可欠な案件でございます。

特に、館山・茂原間の地域高規格道路は、国道128号のバイパス的性格を有し、地域の中核都市を連絡し、もって地域活性化を図り、地域住民の持つ危惧をも解消するものと、大きな期待を持っておる道路計画ですが、その事業化に向けての進捗状況は、必ずしも思わしくない状況にあると考えております。

しかし本計画は、半島性の脱却、及び南房総地域の活性化を図る上で、重要な路線計画であると認識しておりますので、事業化に向けての促進を改めてお願いいたしたいものでございます。

千葉県鴨川市長 本多 利夫

